

粟生町会だより

I. 寒風の県耐寒継走に『粟生町公民館』チームが健闘

1月1日、(月)平成30年度の「第80回記念県耐寒継走選手権」が、金沢市の金沢城公園周回コースで行われ、新春の金沢城下を駆け抜けました。この大会に粟生町から《能美市粟生町公民館》の1チームが出場しました。結果はB組(石川陸協登録者以外)1部、出場126チーム中、能美市粟生町公民館チームは《101位》でした。大会の順位結果はともかくとして、出場しようと言う意気込みと、現に毎年、出場していることが素晴らしいと思います。小さい記事ですが新聞紙上に『チーム名-能美市粟生町公民館』と言う活字を見ると感動します。選手集めが大変でしょうが、来年度も出場して頑張られることを期待しましょう！

II. 新ポンプを使つての自衛消防団『新春出初め式』の挙行



正月早々の1月3日(水)午前9時より、粟生小学校正面玄関前の広場で、粟生町自衛消防団の『新春出初め式』が勇壮に行われました。昨年11月にお披露目しました、新調のピカピカのポンプを使つての初めての『出初め式』でした。団員の皆さんも心なしか緊張の様子で、エンジンをかけていました。粟生町自衛消防団も今年度、団長さんが北野 公さんから浅井康人さんに代わり、気持ちを新たに毎日、防火に対する訓練と町内一周の見守りを行っています。住民の我々も火事を出さないよう【火の用心】に十分に気を付けましょう！

III. 書初めが空高く舞い上がれと見つめる《左義長》



1月8日(月・祝)「成人の日」に粟生少彦名神社境内後ろにて、粟生町恒例の『左義長』が午前8時から10時まで行われました。今年も数名の男子、女の子たちがお父さん、お母さんに連れられて書初めを持って来ました。“空高く舞い上がると字が上手になるよ”と言われ、心配そうに舞い上がる灰を見上げていました。当日は後半からみぞれ模様になり、来る人が少なくなるかなあと思われたのですが、例年の通りにたくさんの人たちが持って来られました。